

令和4年度学校運営連絡協議会実施報告

1 組織

- (1) 都立総合工科高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 教務主任、進路主任、生活指導主任、工業科主任 計4名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、教務主任、生活指導主任、進路指導主任、工業科主任 計7名
- (4) 協議委員の構成
大学教授、PTA会長、近隣中学校長、近隣小学校長、近隣自治会長、警察署生活安全課係長、近隣児童館長、近隣企業社長 計8名

2 令和4年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 【対面開催】令和4年6月30日（月）16時～17時30分
学校評価アンケートの内容検討、協議委員・評価委員の委嘱状及び学校の活動について
委員紹介、令和3年度学校運営実績報告、令和4年度学校運営計画報告、質疑応答、意見交換
 - 第2回 【対面開催】令和4年12月1日（木）16時～17時
令和4年度10月までの活動実績報告、質疑応答、意見交換
10月までの教育活動に関する報告及び学校評価アンケートの内容検討
 - 第3回 【対面開催】令和5年3月15日（水）16時～17時
令和4年度の教育活動に関する報告、学校評価アンケートの内容報告、質疑応答、意見交換
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者
 - 第1回【対面開催】令和4年6月30日（月）16時～17時30分 本校A棟3階会議室
内部委員 校長、副校長、経営企画室長、教務主任、生活指導主任、進路指導主任、工業科主任 計7名
外部委員 大学教授、PTA会長、近隣中学校長、近隣小学校長、近隣児童館長 計5名
 - 第2回【対面開催】令和4年12月1日（木）16時～17時 本校A棟3階会議室
内部委員 校長、副校長、経営企画室長、教務主任、生活指導主任、進路指導主任、工業科主任 計7名
外部委員 大学教授、PTA会長、近隣児童館長、警察署生活安全課係長、警察署生活安全課スクールサポーター 計5名
 - 第3回【対面開催】令和5年3月15日（水）16時～17時 本校A棟3階会議室
内部委員 校長、副校長、経営企画室長、教務主任、生活指導主任、進路指導主任、工業科主任 計7名
外部委員 PTA会長、近隣中学校長、近隣小学校長、近隣自治会長、近隣児童館長、警察署生活安全課スクールサポーター 計6名

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点において実施
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
 - ・ 12月 教職員 対象：58人 回収：42人 回収率：72.4%
 - ・ 12月 全校生徒 対象：433人 回収：336人 回収率：77.6%
 - ・ 12月 保護者 対象：433人 回収：244人 回収率：56.4%
 - ・ 1月 地域・住民 回収：2人
- (3) 主な評価項目
「学校運営」「学習指導」「生活指導」「進路指導」「特別活動・部活動」「健康・安全」「施設・設備」「ライフ・ワーク・バランスの推進」の評価項について本年度の教育実態に合わせて設定
- (4) 評価結果の概要（校長や学校全般への意見・提言内容）
 - ・ 生徒の約8割程度が授業について満足している。新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策により、行事の縮小化や形態の変化など安全対策のために十分な対応を行ったが、行事の通常開催について多

くの要望が寄せられている。

- ・保護者からの意見も生徒同様、概ね良好な結果であるが、wi-fi 環境などのハード面や、授業時間の確保や生徒指導の対応などソフト面に関する部分で、多くの要望が寄せられている。
- ・生活指導は、生徒から 7 割の支持しか得られていない。時差登校期間が長期にわたり、十分な指導ができなかったことが要因と考えられる。また社会情勢と校則についてのすり合わせも必要となってきたものと思われる。

(5) 評価結果の分析・考察（校長や学校全般への意見・提言）

- ・「生徒による授業評価」の実施等により生徒の声を聞くとともに、教科担当者が指導計画、評価等について更に説明を行うことが大切である。特に高校生に目的意識を明確に持たせるとともに、あらゆる機会にマナー意識を持たせる指導が必要である。また、オンラインでの指導を充実させる必要がある。
- ・生徒や保護者の方々からは実習設備や授業環境など、学ぶ環境について概ね良好な評価を頂いている。今後も実習機材や授業内容の整備を進め、充実した学びの環境が強く求められている。
- ・地域の方々からは温かい励ましとともに、時として厳しい意見を頂いている。生徒への指導や、学校からの情報発信が強く求められている。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・それぞれの立場から学校の課題と評価について忌憚のない意見を頂戴した。
- ・委員からの評価は教育活動の成果について肯定的であり、若手教員を中心に自らの教育活動に手応えを感じることができた。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・学校評価アンケート結果からは、生徒・保護者ともに十分な満足が窺える。一方で Society5.0 を支える新たな時代の工業高校として取り組むべき課題も少なくない。
- ・評価委員からも新たな工業教育改革に関する期待を寄せられている。
- ・新型コロナウイルスの新しい対応に向けて、より開かれた学校を目指すとともに、ウィルス等の目に見えない危機への対応も含めた安全対策をしつつ、活発な活動が必要である。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

3 回にわたる学校運営連絡協議会の意見交換の中で、各協議印より以下の意見を得た。

(1) 学校運営

防災訓練等について地域コミュニティとの連携強化

(2) 学習指導

工業改革に向けたアクションが重要であり、工業高校での技術指導についてPRが必要

(3) 特別活動

新しいコロナ対応にむけて、文化祭・体育祭の開催方法について検討が必要

(4) 生活指導

頭髪指導などは、生徒との対話を重視して行う。交通ルールや自転車の乗車マナーについて充実

(5) 進路指導

大学進学者の進路について追跡調査が必要。進路活動は、中学生の高校選びに重要な要素となる。

(6) 健康・安全

新型コロナウイルス感染症への対応について地域へ還元

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 8 人

(2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数 6 人

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
2	4					2

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 0回 企画調整会議 0回

【成果】 特になし

8 その他

- ・ 昨年の課題であったオンラインを活用した調査に移行したことは評価できる。そのいっぽう移行期にあっては、従来の方法を併用するなど回収率を上げる工夫が求められる。
- ・ 工業高校改革については、中学校だけでなく地域全体に発信し、総合工科高校をよりよく知ってもらうためのPRを継続して行く必要がある。
- ・ 学校の教育活動が地域から評価されるにしたい、地域コミュニティとの連携については時期・方法など検討を進める必要がある。
- ・ コロナ禍の状況を鑑みながら、職員会議、行事等への委員の参加を呼びかけたい。